



小さな芽

私とホタル

睦合小学校4年 土山 文子

私の家の前を開田川が流れています。夏になると、ホタルが飛んで、星空を見ているような気持ちになります。それをよその町の人が見に来ます。みんな、

「わー、きれいかな。」

と言ってずっと見えています。たまには、かい中電とうを照らして見ようとする人や、ホタルを取ろうとする人もいます。そのたびに私は、

「ホタルを照らさないでください。」

「ホタルを取らないでください。」

とお願いをしています。

みんなが帰った後、私はしばらくホタルを見えています。ホタルはフワッと上に上がっていきます。それを見て、「ずっとホタルが飛んでいけばいいなあ。」

と思います。私はホタルが見れる所に住んでいてとても幸せです。今年もたくさん飛んでくれることと思います。

